

1. はじめに
2. 使い方のポイント
3. 参考図書(レファレンス・ブック)いろいろ
参考文献

1. はじめに

文献を探す前に確認しておいたほうがよいこととして、

- ・ 調べたいことについて自分がどれだけ知っているか
- ・ 何を知らうとしているか
- ・ 曖昧な知識を整理し、言葉の概念などを認識する
- ・ 調べたいことがらの背景、概略をつかむ

といったことがあげられますが、この作業を行う上で、力強い味方となるものが、参考図書あるいはレファレンス・ブックと呼ばれるものです。これらを活用することによって、調べたい事項や文献に直接たどりつけるばかりではなく、その過程で得た知識は次のステップへすすむ時にも必ず役立つものとなります。遠回りのようにみえても、基礎知識をしっかりと持つことが、その後の飛躍につながります。

2. 使い方のポイント

i. 索引を有効に使う

情報が項目や見出しごとに収録されており、特定の部分だけを参照することによって目的が達せられるようになっていますが、広い主題を扱ったものなどでは、項目には求める言葉がなくても、索引を引くと別の見出し語のもとに記述されていることがわかる場合もあります。

ii. 事典類などは複数のものにあたる

執筆者の立場・主張の違いによる説明に相違があるなど、個性がある場合もあります。

iii. 多角的に使いこなす

本来の目的だけでなく、色々な工夫があるものも多いので、資料の特色をよく知るとより効果的な利用ができます。簡単な例では、事典で、始めのほうから、もくじや大項目を追っていただくだけではなく、後ろの索引をひいてみると、さがしたいキーワードが見つかることがあります。

iv. 関連文献、データを活用する

記述内容の理解だけでなく、参考文献などにより、次々と知識を広げていくことができます。

3. 参考文献いろいろ

参考図書あるいはレファレンス・ブックの種類をご紹介します。例に挙げた資料は、すべて当館で利用することができます。ほとんどは2F 検索コーナーまたはデータブックコーナーで見ることができます。なかには、教科書、レビュー誌などのように、一般の図書、雑誌と同じコーナーにありますが見つかるときは司書にたずねてください。

また、こうしたレファレンス・ブック類は、いち早く電子化される傾向にあり、インターネット上で閲覧することができます。お試しください。

i. 辞典・辞書

代表的なものは国語辞典などで、言葉の意味のほか、語源、用法、綴り方、発音なども添えられています。専門分野のものでは用語の解説が主で、次に述べる「事典」との違いは厳密ではありません。

例) 広辞苑、imidas、看護学大辞典、看護英和辞典、医学用語辞典、南山堂医学大辞典、医学英和大辞典、新社会学辞典など

ii. 事典

代表的なものは百科事典で、事物の解説がされています。主題を限定したものも多い。関連語の指示、参考文献の提示などがあり、次々と知識を広げていくことができます。

例) ネットで百科、日本大百科事典、Encyclopedia Britanica、看護大事典、看護研究用語事典、社会学文献事典、福祉社会事典、新版精神医学事典など

iii. 用語集

ある特定分野の学術用語、専門用語を集めて一定の決まりに従って並べたもの。通常、解説はなく、語彙を確認するものです。

例) 学術用語集、内科学学術用語集、看護カルテ用語など

iv. 人名事典

人物の伝記的情報を扱っているもの。専門分野などに限定する場合も多い。

例) 日本女性人名辞典、朝日人物事典、看護人名事典、キリスト教人名事典など

v. 名鑑・名簿

人名や機関について人名、機関名より連絡先などを体系的に調べられます。簡単な情報を含むものも多い。

例) 医学研究者名簿、病院要覧、全国病院名鑑、Who's Who in American nursing など

vi. ハンドブック・便覧

専門分野の項目をコンパクトに解説した資料。必要なデータとして統計数字やグラフ表を添えている場合もあります。テーマとする学問体系によって配列されています。

例) クリニカルエビデンス、臨床看護薬剤ハンドブック、性格心理学ハンドブック、福祉制度要覧など

vii. 年鑑・白書

主題について年単位で新しいデータを提供するもので、一年間の状況のほか、新しい統計数値や、法令、名簿などが記載されており、ハンドブックの年刊版ともいえます。

例) 看護白書、厚生白書、国民衛生の動向、女性情報年鑑など

viii. 統計集

各種、統計を集めたもの。統計は統計法に基づき政府機関でまとめるものも多いようです。

例) 看護関係統計資料集、母子衛生の主なる統計、民力など

ix. 法令集

官報などに公布された法令本文を掲載する資料です。

例) 現行日本法規、六法全書、看護六法、エイズ対策関係法令通知集など

x. 年表

一般的には歴史上の出来事を年月日順に記載している。特定主題に限るものもあります。

例) 近代日本看護総合年表、近代日本総合年表など

xi. 地図帳

図書の形態をとった地図で、一般には地形図と行政区画とを合わせています。地名の読み方なども記載されています。

例) 東京都地図地名総覧、日本分県地図地名総覧、世界全地図など

xii. 書誌

索引誌・抄録誌：個々の図書や、雑誌類に掲載された論文について、キーワードや著者名から探せるようにしてあります。

例) 最新看護索引、日本看護関係文献集、医学中央雑誌（[医中誌 Web](#)）、[CINAHL](#)、[PubMed](#)、[PsycINFO](#) など

所在目録：資料の所在について調べることができます。

例) 学術雑誌所在目録（[NACSIS Webcat](#)）など

xiii. 教科書

現時点で評価の定まった知識をわかりやすく解説していますが、必ず複数の教科書にあたきましょう。

例) 看護学大系、系統看護学講座、標準看護学講座など

xiv. レビュー誌

文献レビュー、総説を集めた雑誌のことです。すでに発表されている文献の評価を知ることができます。ただし、文献レビュー、総説にもさまざまなレベルのものがあります。また一般的な雑誌のなかに掲載されることもあります。

例) Cochrane Library、Evidence-Based Nursing、Annual Review of Nursing Research、Advances in Nursing Science、臨床看護研究の進歩など

参考文献

・ 斉藤孝ほか. 文献を探するための本. 東京, 日本エディタースクール出版部. 1989